

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成17年10月6日(2005.10.6)

【公開番号】特開2004-10511(P2004-10511A)

【公開日】平成16年1月15日(2004.1.15)

【年通号数】公開・登録公報2004-002

【出願番号】特願2002-163839(P2002-163839)

【国際特許分類第7版】

A 6 1 K 38/22

A 6 1 K 9/08

A 6 1 K 47/10

A 6 1 K 47/20

A 6 1 P 5/18

【F I】

A 6 1 K 37/24

A 6 1 K 9/08

A 6 1 K 47/10

A 6 1 K 47/20

A 6 1 P 5/18

【手続補正書】

【提出日】平成17年5月16日(2005.5.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ヒト-PTH(1-34)を有効成分とし、PTH水溶液がpH3~5であり、且つ安定化剤としてメチオニン及び/またはキシリトールを含有する事を特徴とする、PTH水溶液注射剤。

【請求項2】

PTH水溶液中におけるPTH濃度が0.5~500μg/mLである請求項1に記載のPTH水溶液注射剤。

【請求項3】

メチオニンあるいはキシリトールの添加量が、PTH1重量に対し、40から4,000重量である請求項1又は2に記載のPTH水溶液注射剤。

【請求項4】

PTH水溶液をプラスチック製プレフィルドシリンジに充填することを特徴とする請求項1~3のいずれかに記載のPTH水溶液注射剤。

【請求項5】

安定化剤がメチオニンである請求項1~4に記載のPTH水溶液注射剤。

【請求項6】

pH3~5とし、且つ安定化剤としてメチオニン及び/またはキシリトールを含有させる事を特徴とするヒト-PTH(1-34)水溶液注射剤の光に対する安定化方法。

【請求項7】

ヒト-PTH(1-34)水溶液中におけるPTH濃度が0.5~500μg/mLである請求項6に記載のヒト-PTH(1-34)水溶液注射剤の光に対する安定化方法。

**【請求項 8】**

メチオニンあるいはキシリトールの添加量が、P T H 1 重量に対し、4 0 から 4 , 0 0 0 重量である請求項 6 又は 7 に記載のヒト - P T H ( 1 - 3 4 ) 水溶液注射剤の光に対する安定化方法。

**【請求項 9】**

P T H 水溶液がプラスチック製プレフィルドシリンジに充填されていることを特徴とする請求項 6 ~ 8 のいずれかに記載の P T H 水溶液注射剤の光に対する安定化方法。

**【請求項 10】**

安定化剤がメチオニンである請求項 6 ~ 9 に記載のヒト - P T H ( 1 - 3 4 ) 水溶液注射剤の光に対する安定化方法。

**【請求項 11】**

p H 3 ~ 5 とし、且つ安定化剤としてメチオニン及び / またはキシリトールを含有させる事を特徴とする、光による劣化の懸念のあるヒト - P T H ( 1 - 3 4 ) 水溶液注射剤の流通時の保存方法。